

令和7年8月7日大雨

○令和7年8月10日からの大雨により、国土交通省熊本河川国道事務所の要請を受け被害状況の把握のため白川出張所管内の河川管理施設の洪水時河川巡視を行った。

令和7年度 災害時等応急対策工事に係る基本協定会社
(R7.8.10出水対応業者)
(白川)
(株)明興建設
(有)八十建設
(株)十五建設
明治建設(株)
三州建設(株)
大政建設(株)
五領建設(株)
山本建設(株)





(株)明興建設
坂田 大起 氏



(有)八十建設
緒方 寛 氏



(株)十五建設
中川 浩二 氏



明治建設(株)
豊永 文彦 氏

先日の大雨では短時間に激しい雨が降り、各地で道路の冠水が発生しました。巡回の際、冠水箇所を正確に把握し、関係機関と情報を共有することの大切さを改めて感じました。また、満潮と大雨が重なったことで排水が追いつかず、内水被害が拡大した印象も強く、自然条件を踏まえた対応の重要性を実感しました。今回の経験を今後の巡回や防災活動に活かしていきたいと思います。

当日は白川の水位の上昇が非常に早く、「国土交通省の川の防災情報」を確認しながら、夜22時には水防班員に集合をかけました。通常ならば、30分〜40分程度で到着するのですが、この日は、各所において道路冠水により私を含め現地に集合するまでに23時30分ようやく集合できました。24時を過ぎた頃から朝方に交代するまで巡視を行い、集合時に班員で確認していた河川の決壊情報が大変有用であったように、私たちも最新情報を伝えるべく河川巡視を行っていききたいと思います。


今回の大雨は短時間に記録的な雨量で各地で道路や家屋の冠水被害があったようで、私どもの巡視区域である白川左岸でも川裏住宅地では道路が冠水していました。真夜中でしたが、不安から外で様子をうかがっている住民の方に出くわることがあり、現在の河川の状況や、川、水路に近づかない様に、また今後の状況には早めに対応をしていただくように声をかけ巡視している私達と話すことで多少なりとも安心されている様子でした。危険ではありますが意義ある事だと改めて感じました。これからも真摯に取り組みたいと思います。

今回の巡視要請は夜間で降雨が続く中でのもので、普段の巡視とは異なり、視界不良や増水による速い流れの中での対応となりました。安全確保に十分注意を払いながら、管内河川の水位上昇状況や護岸・堤防の異常の有無を重点的に確認しました。堤防点検の結果、異常はありませんでしたが、堤内の幹線道路の一部が冠水するなど、甚大な大雨であることを実感しました。今後も、今回の経験を踏まえ、装備や連絡手段を確保し、安全で確実な巡視体制の構築に努めてまいります。


今回の河川巡視を通して、大雨による増水や冠水の怖さを改めて実感しました。先輩方と共に作業し、安全確保の重要性を学ぶとともに、今後は若手として地域の安心・安全に積極的に貢献できるよう、日頃から準備や警戒を怠らず努めていきたいと思いました。

前日からの降雨の影響で河川の水位が上昇したため、巡視要請を受けました。深夜2時半頃から巡回を開始しましたが河川改修等の効果により、担当区間の護岸や堤防に異常は見受けられませんでした。近年は温暖化の影響が豪雨による災害が多発しておりますので、今後も気を引き締めて巡回に当たりたいと思います。


河川巡視の要請を受け巡視箇所へ向かいました。巡視箇所へ向かう途中、至る所で道路が冠水し通行できる道路を迂回しながら到着しました。夜中の巡視となり、堤防、樋管等の異常の有無や塵芥の堆積状況を確認し報告を適宜行いました。夜明けと共に水位が減少し巡視解除となり安心しました。今回、道路冠水を受け運行ルートの把握が必要と思いました。



大政建設(株)
江田 圭佑 氏



五領建設(株)
小野 翔太 氏



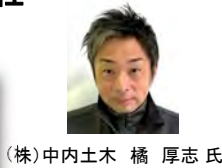
山本建設(株)
西 俊昭 氏



○令和7年8月10日から大雨により、国土交通省熊本河川国道事務所の要請を受け被害状況の把握のため緑川下流出張所管内の河川管理施設の洪水時河川巡視を行った。

令和7年度 災害時等急応対策工事に関する基本協定会社
(R7.8.10出水 対応業者)

- ①(株)中内土木
- ②(株)杉本建設
- ③昇建設(株)
- ④松本建設(株)
- ⑤(株)南州土木
- ⑥(株)吉永産業
- ⑦(株)岩永組
- ⑧(株)橋口組
- ⑨(株)高村建設



(株)中内土木 橋 厚志 氏

今回の巡視は、深夜未明・降雨中ということもあり周囲の安全を確認しながらいつも以上に慎重な巡視となりました。堤防の決壊や越流といった大きな異常はありませんでしたが、巡視ルート沿いの宅地・畑の冠水や橋脚への漂流物捕捉等の状況を報告しております。災害巡視は異常を見つけその後の対策を検討する上で重要な活動です。今後も巡視要請の際は責任感を持って、正確な情報を伝えていきたいと思っています。

今回は、前日の夜から降り続いた大雨により河川内の水位が上昇した為出動要請を受け午前2時から巡視を行いました。大きな被害等はありませんでしたが午前6時頃になると堤内浸水が見られる箇所があり河川内の水位だけでは無く広い視野で巡視を行う事が大事だと改めて気づかされる事となりました。今後も河川巡視員としての正確な情報を速やかに報告するよう努めていきたい思います。



(株)杉本建設 松岡 崇人 氏



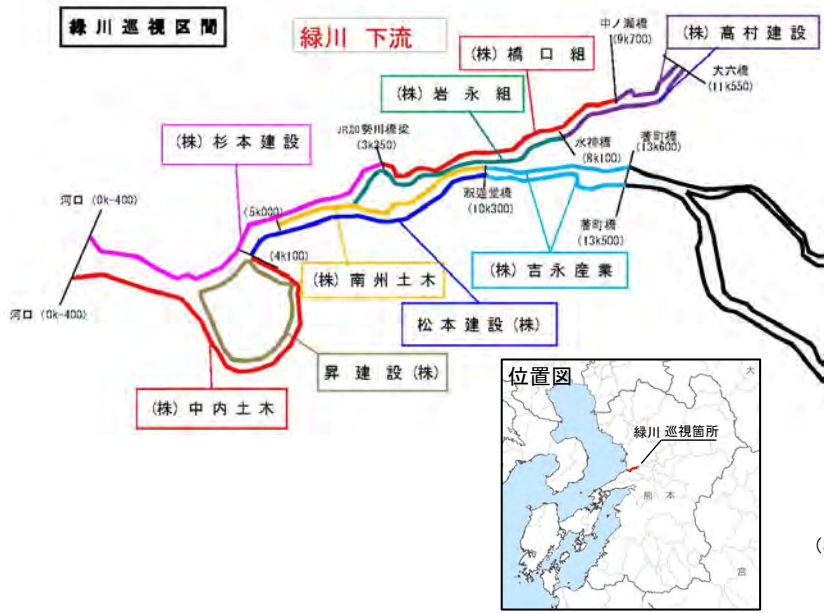
(株)松本建設 荒木 康広 氏

今回は深夜帯からの開始で、各所で冠水が始まり河川の水位も上昇していく中、巡視中の安全確保を第一と考え堤防巡視を行いました。RiMaDisによる状況報告で以前よりも早く現地の状況を出張所と共有できるようになりスムーズに巡視を行うことができました。今回は大きな災害はありませんでしたが、今後も急な大雨や台風に備えて巡視の重要性や体制を日頃から職員全員に周知・共有しておきたいと思っています。

当日は記録的な豪雨による河川の水位上昇により出動要請を受け、夜中から巡視を始めました。今回の豪雨では各市町村で甚大な被害がでており、巡視河川の水位もかなり上昇しておりました。改めて巡視の大切さを認識しました。



(株)南州土木 松田 玲洋 氏



(株)橋口組 池田 将士 氏

8月10日～11日の線状降水帯の降雨により河川水位が急激に上昇した為、深夜に、出動要請を受けました。普段は穏やかな河川の流れが勢いを増している様子は非常に緊迫感がある中、いつもは、何もなく通れる道路も迂回しながら、堤防の亀裂や漏水等の損傷がないか重点的に巡視点検を行いました。今後も地域住民の方々の安全確保につながる迅速かつ正確な情報提供ができるように巡視活動を続けていきたいと思っています。

○令和7年8月10日から大雨により、国土交通省熊本河川国道事務所の要請を受け被害状況の把握のため緑川上流出張所管内の河川管理施設の洪水時河川巡視を行った。

令和7年度 災害時等応急対策工事に関する基本協定会社
(R7.8.10出水対応業者)

- 緑川（上流）
- 岩田建設（株）
- (株)西村建設
- (株)清甲
- (株)坂本建設
- (株)吉本組
- (株)尾上建設



岩田建設(株)
小野 貴志 氏

今回、巡視に初めて関わらせていただきました。河川水位は分単位で変動し、情報共有の遅れが地域住民の避難等の遅れ、つまりは人命救助に直接的に関わる大きな役割を持っていることを痛感いたしました。建設業の役割を普段意識しているつもりではありますが、改めてまずは社内で大雨時の現場状況だけでなく、周囲の河川等の状況共有を強化していきたいと思います。建設業に携わる一員として、災害から人命を未然に守れる一員であるよう日々精進していきたいと思っています。



(株)清甲
奥名 貴一 氏

令和7年8月11日は、前日から大雨で線状降水帯が発生し、緑川の水位が上昇した為、連絡員からの出動要請を受け、2時44分より巡回を始めました。初めての巡回で緊張感と使命感で出発しましたが、過去に経験した事が無い緑川の水位の上昇に驚き、身の危険を感じながら巡視を続けました。堤防未整備箇所からの越水、内水氾濫と思われる道路の冠水など、巡視により早期の情報伝達の大切さと、河川内の土砂浚渫や樹木繁茂箇所の伐採など、日頃から河川の維持管理の重要性を改めて考えさせられました。



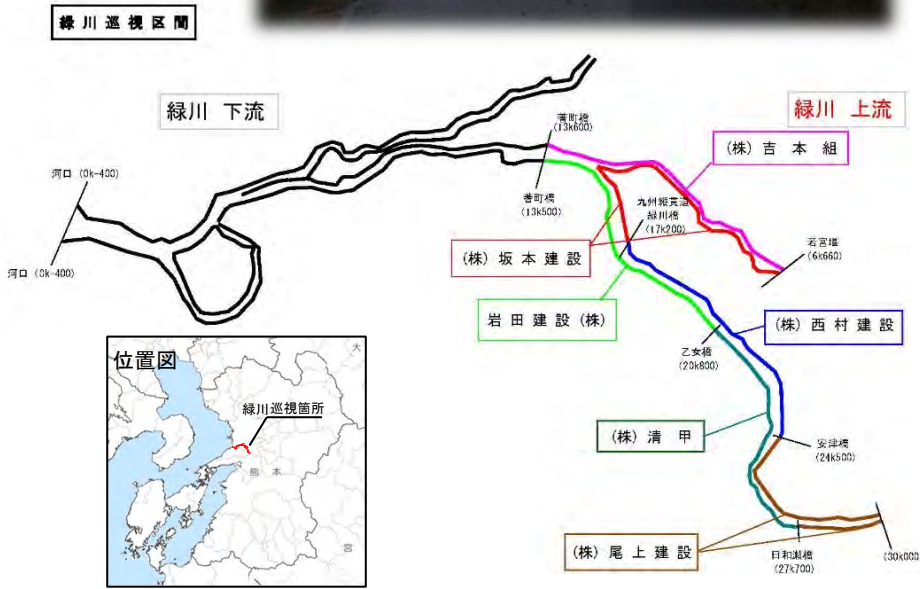
(株)坂本建設
坂本 博次 氏

出動要請の連絡が入ると私自身が緊張しながら現場に向かっていきます。大きい災害につながるような小さい異常を見逃さないように心掛けて、3人一組で頑張っています。



(株)尾上建設
木戸 恭平 氏

前日夜中からの大雨により、11日、午前1時45分に出動要請を受け、3時51分に現地到着後、巡回を始めました。深夜帯だった事もあり、周りの状況を把握する事がとても困難で恐怖を感じました。今回の巡視では水位の上昇による大きな異常はありませんでしたが、内水氾濫による冠水箇所が多々ありました。今回の巡視を踏まえ、夜間帯であっても、できる限り周辺状況を把握し、かつ、自身の安全確保を行い、正確な情報を伝えて行きたいと思っています。



- (被害状況): 令和7年8月10日から11日にかけて断続的に発生した線状降水帯により、国道208号玉名市山田地区において、車道(歩道)へ土砂流入し通行止めが生じた。
- (対応状況): 通行規制を解除するため、土砂撤去、大型土のう(29袋／2箇所)設置を実施した。

災害対応箇所



土砂流入



土砂撤去



大型土のう作成



大型土のう設置



応急復旧完了





(株) 中川組
木山 明氏

災害対応の要請を受け、法面崩壊部に於ける流出土砂の撤去及び、法面復旧工事を行いました。休暇中であり人員や機械の確保を心配しましたが、多くの方々のご協力により迅速に作業する事が出来ました。二次災害及び、熱中症に注意しながら作業を行い、国道208号の早期開通に貢献出来て良かった。

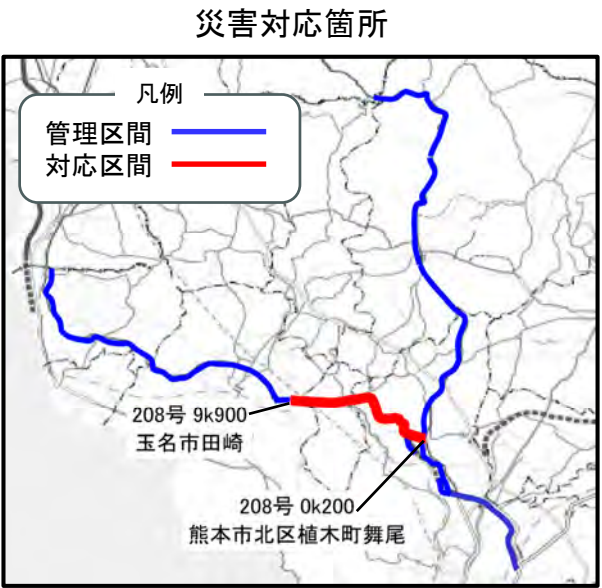


興亜建設工業(株)
廣田 崇人氏

災害協定区域外の現場でありましたが、被害拡大を防ぎ迅速な開通を実現するため、大型土のうの作成・運搬・設置作業に従事しました。悪天候の中での作業は緊張を伴いましたが、関係機関と連携し無事に通行規制の早期解除に貢献できたことを大変嬉しく思います。

○(被害状況): 令和7年8月10日から11日にかけて断続的に発生した線状降水帯により、国道208号玉東町で道路が冠水し、立ち往生車両が発生。国道208号熊本市北区植木町富応地区において、法面崩落し国道下の運動場へ土砂流出した。

○(対応状況): 冠水箇所の交通規制・立ち往生車両の救出。流出した土砂撤去、大型土のう(85袋)設置を実施。



道路冠水のため交通規制及び車両救出



土砂崩壊

土砂撤去

土砂撤去

応急復旧完了



(株)池田建設
池田 裕太氏

豪雨(線状降水帯発生)によって国道208号が冠水したため、交通規制(全面通行止)、一般車両誘導、立ち往生車両の救出等の作業を行いました。交通規制開始、解除及び規制位置等について、正確な現地状況(降雨、冠水、立往生車両状況)を発注者とやり取りした結果、安全に迅速な対応をすることができ、少しでも早く交通規制を解除することができました。

また国道208号(協定区間内)の法面で土砂崩壊が発生し、熊本市所有(管理者)のグラウンドに土砂が流出していたので、土砂撤去及び大型土のう設置、ブルーシート養生等の応急処理作業を実施しました。施工に先立ち、発注者及び管理者(熊本市)と復旧範囲、施工方法、復旧時期等を事前打合せを実施したことで作業班及び資機材の確保を行い、迅速に作業を終えることができました。よって熊本市所有のグラウンド及び国道208号への被害、影響を最小限に留めることができました。

○(被害状況)・・令和7年8月10日～11日にかけて、記録的大雨に見舞われ、白川直轄管理区間において塵芥・流木等の堆積が発生した。

○(対応状況)・・豪雨後の白川直轄管理区間における緊急点検及び塵芥調査を実施した。塵芥調査では、徒歩調査の他、ドローン空撮を行い、迅速な被災状況把握に努めた。

令和7年度 災害時等応急対策に関する基本協定会社

位置図



- ①(株)旭技研コンサルタント
- ②(株)興和測量設計
- ③(株)建設プロジェクトセンター



塵芥調査状況



ドローン空撮写真



測量中



測量中



測量中



UAV撮影



UAV撮影



ドローン空撮状況



(株)旭技研コンサルタント
酒井 武夫 氏



(株)建設プロジェクトセンター
春日 隆佑 氏

線状降水帯が繰り返し発生し、氾濫危険水位を超過したため、災害協定に基づき、河口付近の堤防(表裏)、堰、樋門、樋管等を対象に巡視を実施しました。当日は盆休み期間中で、各社員は休暇中でしたが、日頃の災害対応訓練や緊急時連絡ツールの活用により、迅速に参集することができました。今回は、3人1組の4班体制で対応し、安全かつ迅速な作業のため、UAVを活用しつつ徒歩による巡視を行いました。その結果、緊急性の高い損傷は確認されず、安堵しております。近年、自然災害はいつ発生してもおかしくない状況にあります。今後も日頃から備えを徹底し、社員一丸となって対応してまいります。

豪雨後の被災有無確認の緊急調査及び塵芥調査を行いました。特に塵芥調査では、直轄区間約17km状況把握を早期に行うため、徒歩確認の他、ドローンでの空撮を行い、堆積量の早期把握に努めました。入社後初めての災害対応でしたが、都度担当職員へ報告を行い、円滑な作業を心掛けました。今後も技術研鑽し、社会貢献できる技術者を目指していきます。

○(被害状況)・令和7年8月10日～11日にかけて、記録的大雨に見舞われ、緑川水系直轄管理区間において、塵芥・流木等の堆積及び河岸の侵食が発生した。
○(対応状況)・豪雨翌日の8月12日に、一級河川緑川水系の被災状況などを確認するため、緊急点検(河川施設、浸水範囲等)を実施した。



(株)熊本建設コンサルタント
竹下 久美 氏

河川堤防の被災状況を目視およびUAV写真撮影により調査しました。あわせて、河川施設の調査や内水浸水した箇所についての調査も行い出水後早期に状況把握が出来ました。

当該箇所は甚大な被害が無く幸いでしたが、早期に状況把握を行うことが、その後の災害復旧対応等の迅速な実施に繋がります。今回は地元企業ならではの機動力を活かし早期に対応できたことで、微力ながら地域の安全を守ることにも貢献できたと思います。

(株)九州開発エンジニアリング
藤本 大志 氏

早期の災害対応に向けて、発注者と緊密に連携しながら、緑川の内水被害状況把握や流木等の堆積状況調査を実施しました。また、河岸が侵食された2箇所の被災箇所については、早期に被災要因の分析と復旧工法の比較検討を行い、復旧事業費申請のための調書作成にも対応しました。

(株)水野建設コンサルタント
橋本 潤 氏

「熊本河川国道事務所における災害時等応急対策に関する基本協定」に基づき、出水直後から河川施設などの被災状況の緊急調査を実施しました。

迅速な対応を行うため、複数班かつUAVを用いて効率的な調査を行い、被災状況の把握に努め、翌日には結果を報告しました。

西日本測量設計(株)
平居 明公 氏

西日本測量設計(株)
嶋田 慶次 氏

「災害時等応急対策に関する基本協定」に基づき、緑川河川施設の緊急点検を実施しました。

迅速な対応・復旧を行うため、現地での被災箇所の把握や状況整理、結果報告など、被災直後の情報収集に努めました。

九州建設コンサルタント(株)
宮崎 浩三 氏

弊社は、発災直後から緑川水系加勢川直轄区間において堤防の変状、川裏漏水状況、川表護岸等の被災状況を徒歩による調査を実施しました。また、徒歩で確認できない水際などはUAVによる空撮を行い、被災の有無等の確認を行いました。



○(被害状況): 令和7年8月11日10時頃、豪雨の影響で斜面崩壊が発生し、八代郡氷川町大野の国道3号歩車道へ土砂が流入した。
○(対応状況): 土砂撤去、大型土のう設置等を実施し、歩道部の通行規制を解除した。



土砂撤去状況



応急復旧完了



土砂撤去状況



大型土のう製作



(株)松下組
坂本 謙太 氏

大雨による出動要請を受け、国道3号(道の駅竜北近く)の歩車道に流出した土砂の撤去を行いました。流用土による大型土のうの製作・据付と崩壊面のシート養生により崩土の拡大を防ぎ、早期の応急復旧と一般利用者の安全を確保しました。

○(被害状況): 令和7年8月11日9時頃、冠水・土砂流入により国道3号八代市岡町・平山新町を通行規制した。
○(対応状況): 土砂撤去・路面清掃を実施し、通行規制を解除した。



土砂撤去状況



路面清掃状況



(株)江川組
作田 博志 氏

緊急出動要請を受け、人員および機材を確保し国道3号線へ出動しました。暑い中他の協定業者の方と協力し早期に復旧することができとてもよかった。また作業者一人一人が安全に配慮し無事故で作業を完工することができました。



(株)土井組
山口 直人 氏

国道の歩道等が土砂で埋まり、地域住民の生活に支障が出るくらいの災害でしたが早急に対応できて良かったです。

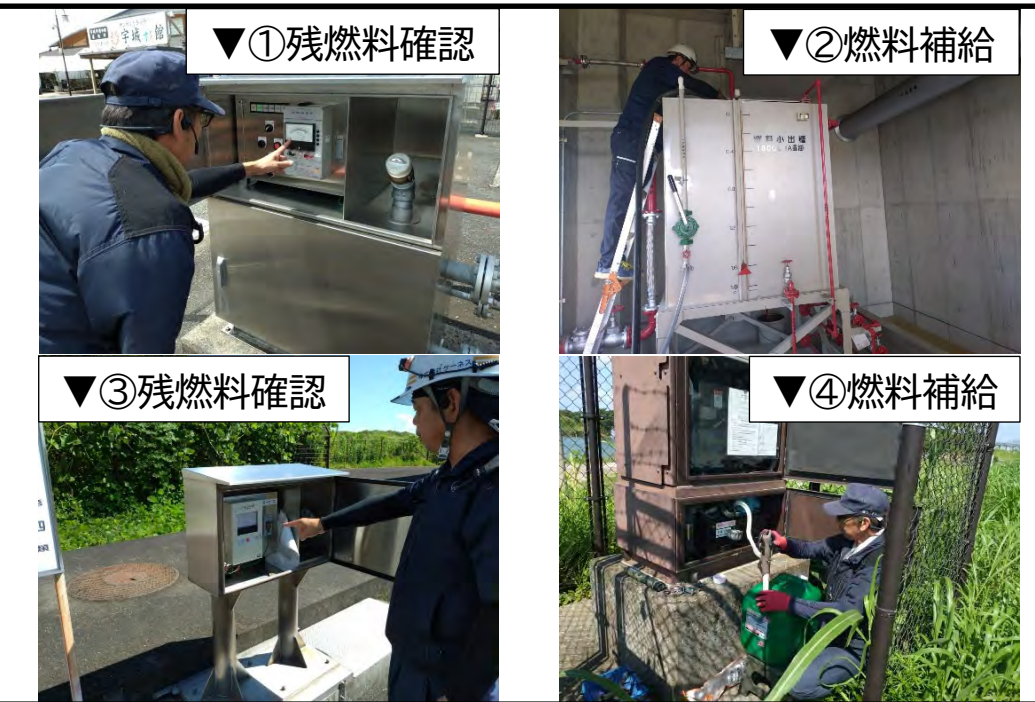



(株)中山建設
麦田 浩二 氏

豪雨による平山新町国道3号への土砂流出の連絡を受け現場に急行し、直ちに通行止め交通規制を開始し、作業班の編成・重機、工事車両の手配を行い、復旧作業を行いました。国道3号は、人流・物流に重要な路線であり早期の復旧が必要だったため、二次災害が発生しないよう安全対策を徹底し作業を行い無事早期の復旧ができました。

○(被害状況) 令和7年8月7日から11日にかけて発生した大雨により、CCTV映像断やトンネル非常用設備の故障発報など熊本県内の広範囲に渡って電気通信設備に障害が発生した。

○(対応状況) 次の大雨に備えて、令和7年8月12日から9日間で延べ20人にて排水機場や道の駅、CCTVや情報板に設置している96箇所の予備発電機の残燃料を確認し、早急に燃料補給を行った。





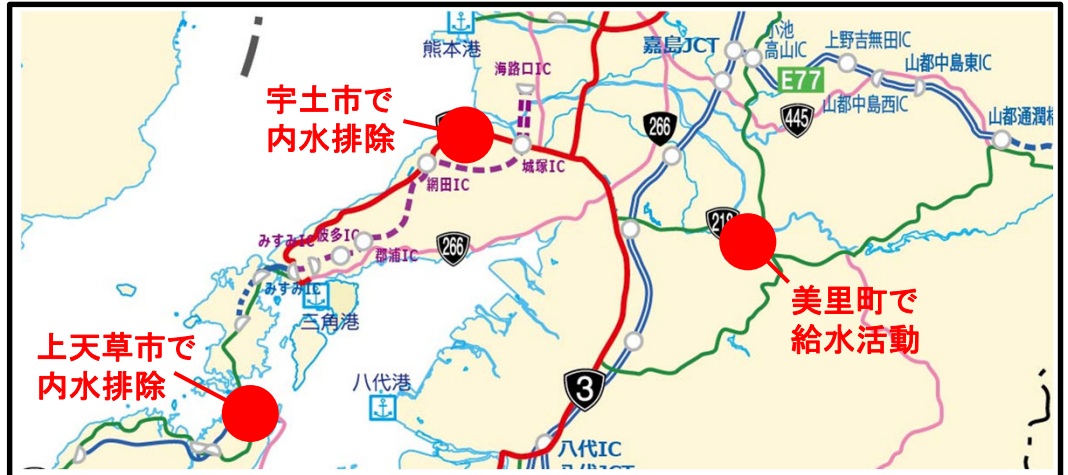
豪雨後の非常用発電機の確認及び燃料補給を通じて、平時からの点検管理の重要性を再認識するとともに、保守業務に携わる者としての責任感をより強く意識するに至りました。今回の対応で得た教訓を活かし、今後起こり得る災害等緊急時においても、担当設備の確実な動作を通じて地域防災に貢献出来るよう尽力いたします。




(株) ケーネス
西山 生雄 氏

○(被害状況): 令和7年8月11日からの記録的大雨により、宇土市、上天草市で路面冠水被害や浸水被害、美里町で断水が発生した。

○(対応状況): 宇土市、上天草市へ事務所保有の排水ポンプ車を派遣し内水排除を行った。
美里町へ散水車を派遣し給水活動に貢献した。

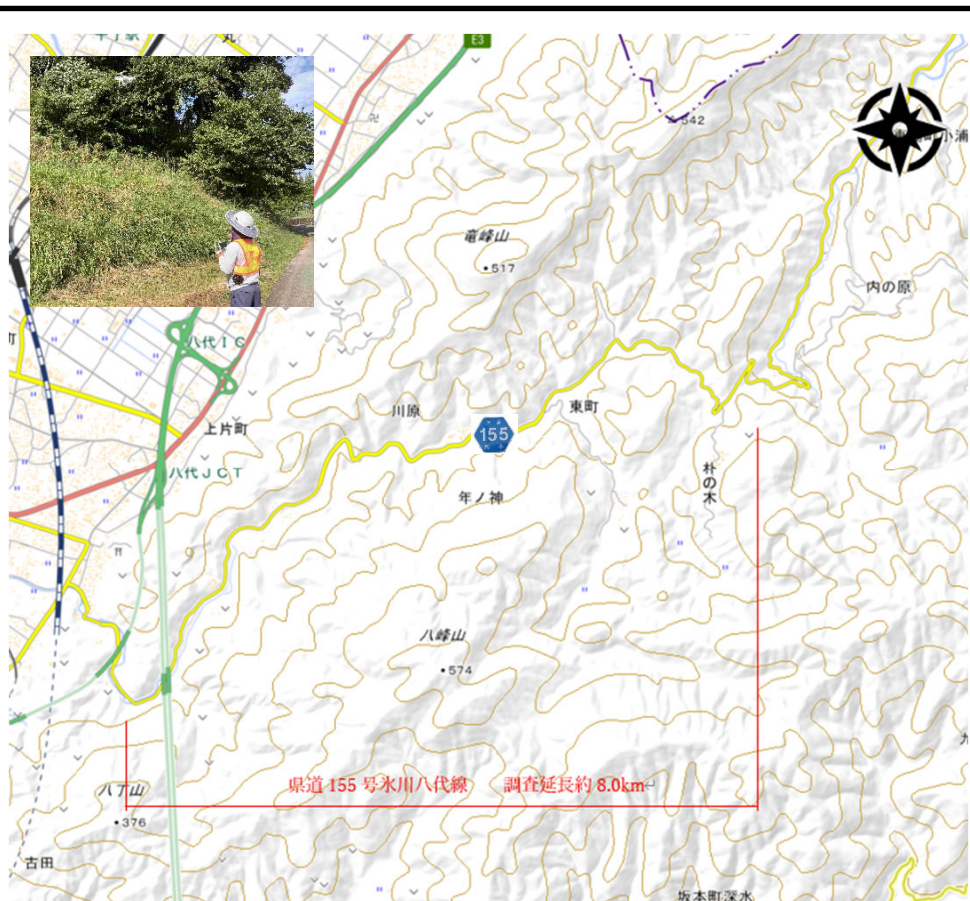
【協定業者: (株)杉本建設、(株)南州土木、(株)中内土木】



	<p>(株)杉本建設 宮口 智明 氏</p> <p>○令和7年8月11日に県内を襲った記録的大雨により、雨水などを排水するポンプ場の機能低下により路面冠水が発生し、通行に影響をもたらした。 ○対応として、排水ポンプ車を設置し河川から海へと排出することで、災害対策に努めた。</p>
	<p>(株)南州土木 鎌山 綾太郎 氏</p> <p>現場周辺は水没した車両や床上浸水した家屋等、甚大な被害が出ていました。今回の出動で建設業の役目や大事さを再認識しました。</p>
	<p>(株)中内土木 田島 誠一 氏</p> <p>緊急の要請を事故なく無事に遂行出来た事に安堵しています。今後も迅速に対応ができる体制を整備・維持していきたいと思います。</p>

○（被害状況）：令和7年8月10日からの大雨に伴い、県道155号氷川八代線（八代市）において、法面崩壊・路肩崩壊・土砂流出が見受けられ、一部では孤立した集落もあった。

○（対応状況）：8月13日の午後から8月14日の正午にかけて、延長約8kmの間を1班体制でドローンによる空撮を行い、人が立ち入れない危険な箇所の被災状況を把握した。



（株）大進コンサルタント
平嶋幸一

「災害時等応急対策に関する基本協定」に基づき、被災状況調査（ドローンによる空撮）を行った。ドローン操縦士1名、補助者1名の1班体制を直ちに整え迅速な対応が出来ました。現地では猛暑日の中、徒歩移動と体力の消耗（熱中症等）が気でしたが、孤立した集落内では地元の方が移動用の車をご提供いただき、事故無く作業を完了できました。

大雨による浸水対策支援（株）中山建設（八代河川国道事務所）

- （被害状況）・・8月10日から11日にかけて天草・芦北地方に線状降水帯が発生。6時25分到大雨特別警報が発表され、各地に浸水被害が発生した。
- （対応状況）・・8月11日17時15分熊本県より浸水対策支援要請が入り、排水ポンプ車を派遣。同20時45分より排水運転を開始し翌日まで排水作業を行った。



地理院地図
GSI Maps



【従事者】



【コメント】

未明からの線状降水帯により、社員の半数以上が床上・床下の被害を受け、出勤できない者、夏季休暇期間中の者に対応が難しい中で、調整しました。現地で排水場所を探して指示されるのですが、吸水と車両、車両と排水先の距離など配置に苦労しました。今回、人員の中に東日本震災時に石巻で排水作業に参加した社員がいた事で、スムーズな排水作業が出来ました。災害はいつか必ず来るという心構えで、これからも準備対応します。

令和7年度災害時等応急対策工事に関する基本協定会社
(R7.8.10~11 出水対応業者)

- ①(株)中川組 ⑧(株)皆本建設
②(株)池田建設 ⑨ 藤工業(株)
③(株)熊野組 ⑩(株)宝建設
④(株)フチガミ ⑪(株)八方建設
⑤(株)小川建設 ⑫(株)緒方建設
⑥(有)古田建設 ⑬ 荒川建設(株)
⑦(株)高喜工業



(株)中川組
谷口 誠氏

当日は線状降水帯による大雨で水位が上昇した為、河川巡視を開始しました。22時以降の巡視は大雨の影響により視界が悪い為、慎重に巡視活動を行いました。河川堤防に異常はありませんでしたが、巡視範囲の堤内地域では冠水による被害があり、経験上一番の集中豪雨でした。これからも巡視活動を行う際は慎重に無理せず活動を行いたいと思います。



(株)池田建設
原口 聡氏

熊本県では記録的な降水量の豪雨が発生し、熊本県内の7市町村に大雨特別警報が発令され、今回の出勤要請となりましたが、視界が悪く状況把握が困難な深夜の大雨の中、わずかな情報と頼りに、冠水道路を避けながら出張所へ参集しました。最大級の警戒態勢と人命第一の方針の下、地域の守り手として、責任をもって安全・円滑に洪水時河川巡視を行いました。



(株)熊野組
清田 隆治氏

激しい大雨により河川の水位が急速に上昇したことから、出動要請を受けて河川巡視を実施しました。巡視では、堤防や排水施設の点検を行い、越水や法面崩落の兆候がないか確認しました。豪雨の中での深夜巡視であったため、作業員の安全を最優先に活動しました。幸い重大な被害や異常はなく、地域住民の安心につながる対応ができました。

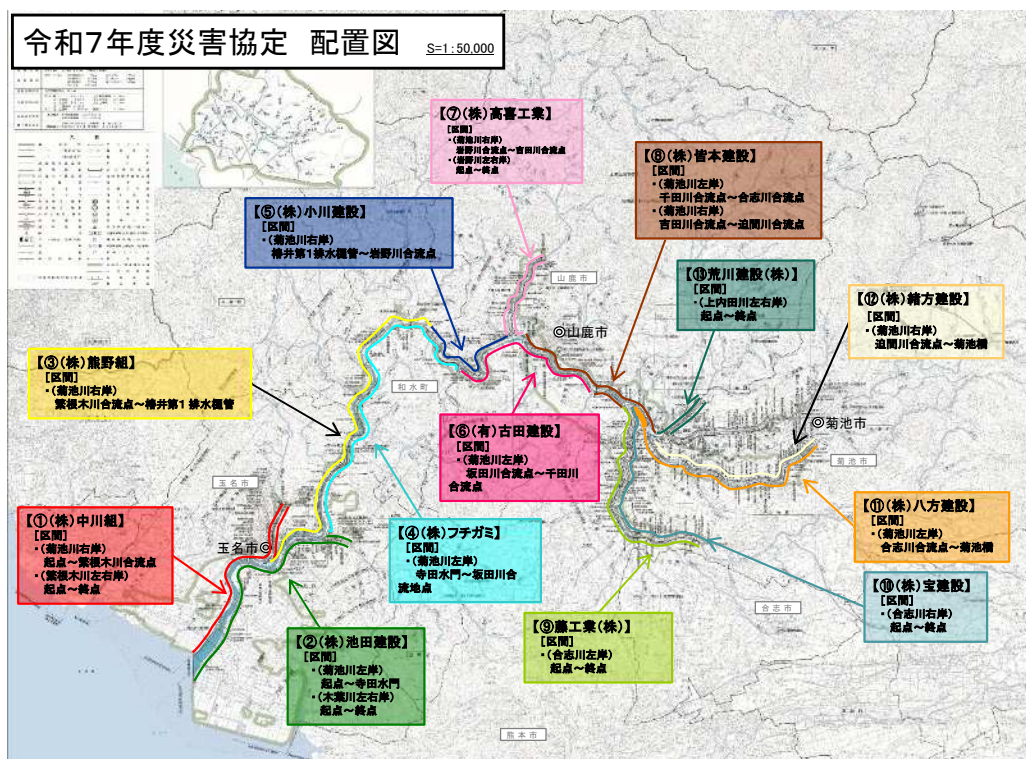
今後も大雨時には迅速かつ安全な体制で巡視・点検を行い、地域の防災に努めてまいります。



(株)フチガミ
荒木 童一氏

当日はかなり激しい雨が降っていたため、防災情報で河川水位等の確認をしていて、出勤要請がくるかもと思っていたところでの要請でした。深夜からの巡視だったので、周囲の状況を確認しながら安全第一で行いました。

これからも気象情報には気を付けて非常事態に応えられる体制を作りたいと思います。





(株)小川建設
小川 正弥氏

緊急出動要請の連絡を受け、河川巡視パトロールを行いました。今回は巡視範囲に大きな異常はありませんでしたが、今後とも災害に備え、安全かつ迅速に作業が行える施工体制を構築していきます。

災害に迅速に対応し地域に貢献することが、弊社の理念であり今後も全力で活動を行って行きたいと思ひます。そして災害活動等を通じて地域の人に愛される企業を目指します。



(有)古田建設
山本 瑞喜氏

当日は、線状降水帯の影響により河川水位が上昇したため出動要請を受けました。入社して初めての巡視であり深夜の増水している河川巡視だったため、自然災害の恐ろしさを感じました。今回の巡視により、現地状況の理解と正確な情報伝達の難しさを改めて確認しました。

今後も微力ながら巡視を通し防災に努めていきたいと思ひます。



(株)高喜工業
中原 真治氏

今回の洪水時河川巡視は、近年では稀に見るほど水位上昇が早かったように思ひます。線状降水帯予測情報もありましたので、河川水位の確認を随時行ひ、巡視員の確保に努め出動しました。深夜帯から早朝における巡視であったことから、確認作業は困難な箇所もありましたが、被災箇所もなかったため、安堵しております。

今後も、雨のみならず、地震・台風等を考慮し、地域防災につなげていけるよう、活動していきたいと思ひます。



(株)皆本建設
武藤 国彦氏

九州地方に大雨が降り、菊池川の水位が上昇したことが判明し、山鹿出張所より深夜緊急要請を受けました。早急に巡視メンバーへ連絡調整し巡視を開始し、河川の川表に車が浸水していた状況を報告しました。早朝4時過ぎに河川水位が減少したため出張所より解散の報告を受けました。

今後も地域のため、早急の対応を心がけて行きたいです。



藤工業(株)
小田 将氏

今回の巡視活動は、夜間の活動となり、視界の悪い中での作業で、河川の増水・浸水確認連絡等、一般家庭への被害の減少を目的とし活動を行いました。予想以上の降雨量により河川の増水スピードが速く戸惑いましたが人的被害も無く、無事に終えた事に安心したと同時に、昨今の豪雨被害を身近に感じる出来事となり、今後の活動の重要性を実感する事になりました。

今後とも、被害減少となるよう尽力していきたいと思ひます。



(株)宝建設
田上 貴史氏

お盆休み中の23時ごろの出動要請でした。深夜からの出勤でなおかつ通勤のための道は冠水しておりました。自宅にいたときは雨音も聞こえず、出勤中にただ事ではないことに気づきました。最近のゲリラ豪雨を肌で感じ、各地の災害のニュースを耳にして、防災巡視の大切さを身をもって感じました。

今後も巡視時の正確な情報を伝えていきたいと思ひます。



(株)八方建設
坂梨 誠治氏

当日、九州北部地方で線状降水帯が発生する予報が出ていたので、菊池川流域マップで菊池市広瀬地区の水位観測所情報を確認してました。22時過ぎくらいから水位が急激に上昇した為、出動要請を受けました。班全員が巡視連絡が来ると思ひ心構えがあつて招集が早かったです。巡視は深夜の真っ暗な状況で雨も降っていたのですが確実な情報を連絡する為、班全員が一丸となって巡視しました。

また、今後も巡視の重要性を理解し、取り組んでいきたいと思ひます。



(株)緒方建設
木庭 正直氏

当日は、急な増水により、日が変わる頃に出動要請を受けました。未明から、1往復の巡回を行ひ、短時間での増水だったこともあり、朝方まで待機した後、もう一度巡回しました。最近、雨の降り方が変わつて、短時間で大量に降る事が多くなり、内水の溜まり方も、ずいぶんと変わつてきている様に思ひます。



荒川建設(株)
黒田 武史氏

最近、各地で線状降水帯が多発し、大雨による災害のリスクが高まっています。今回の巡視は雷雨の激しい深夜帯となり、緊張感を持って、安全第一に行ひました。

これからも、河川巡視によって、正確な情報を伝え、地域の防災に貢献できるよう、出動要請に対応していきたいと思ひます。

令和7年8月10日の大雨に伴う内水被害を軽減するため、玉名市及び和水町からの支援要請を受け菊池川河川事務所から排水ポンプ車2台を配置した。

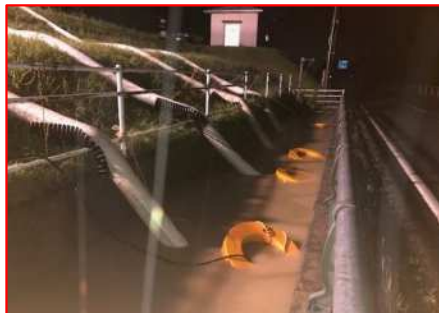
【災害協定企業:(株)熊野組、(株)フチガミ】



江栗第5排水樋管



三蔵川樋門



三蔵川樋門



(株)フチガミ
上妻 正明氏

依頼を受けたときは、深夜2時くらいで、洪水時河川巡視も行っていたため、人員の確保に苦労しましたが、無事、排水ポンプ車を設置することが出来ました。

今後も緊急事態に対処できるようにしたいです。



(株)熊野組
鍋島 保徳氏

今回の出動要請は豪雨の最中、しかも深夜での対応となりました。そのため、まずは作業員の安全確保を最優先に行動しつつ、速やかな排水活動を実施しました。

今後も、一層の安全・迅速・確実な対応を目指し、「安全第一」を基本に、地域の皆さまの安心につながる活動に努めてまいります。

令和7年8月10日の大雨に伴う内水被害を軽減するため、熊本県及び玉名市からの支援要請を受け菊池川河川事務所から排水ポンプ車3台を配置した。

【災害協定企業:(株)池田建設、(株)高喜工業、(有)古田建設】



(株)池田建設
古岡 直弥氏

大雨により、内水湛水被害が生じていた受免地区で地元消防団から引継ぐ形で排水作業を行いました。なかなか水位が下がらず時間がかかってしまいましたが、解消できてよかったです。
今後も地域の守り手として地域貢献に努めてまいります。



(株)高喜工業
延 和宏氏

現場に到着したときは、周りは暗くなっており、排水ポンプ車を駐車したときには、家屋の内水被害が最初に確認できました。内水を少しでも早く処理するため、迅速な排水ポンプ設置、排水開始に努めました。
今後も、地域の被害を少しでも軽減できるよう、緊急時に備え、社内での密な連絡体制、人員確保に努めていきたいと思ひます。



(有)古田建設
戸上 彰太氏

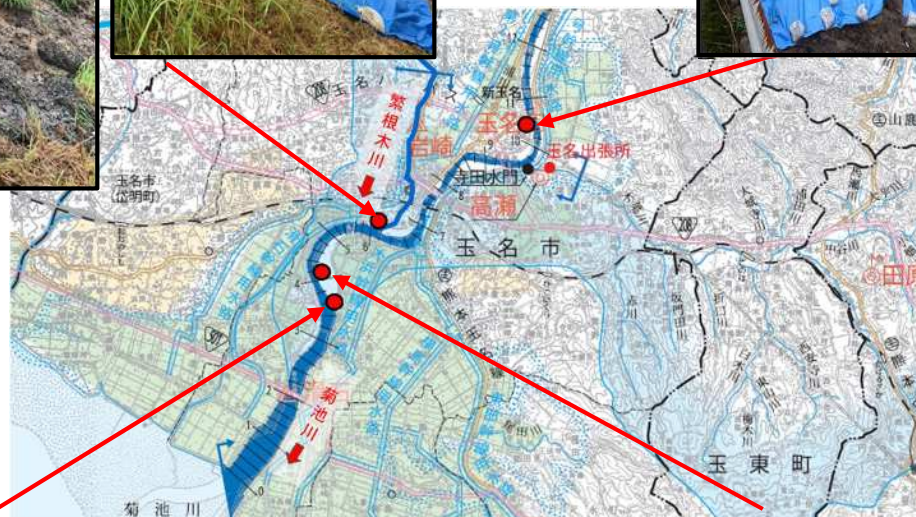
排水ポンプ車での内水排除作業を行い内水被害を軽減しました。
近年は、線状降水帯による急激な川の増水があるため、今後も密な連絡体制、人員確保に対処できるように努めて参ります。

- (被害状況)・令和7年8月10日夜間から11日にかけての大雨により、菊池川本川の玉名市小島地先(2箇所)及び両迫間地先(1箇所)、支川 繁根木川の繁根木地先(1箇所)において、堤防の法面崩れが発生。
- (対応状況)・緊急的な応急対策として、8月11日中にブルーシート及び土嚢の設置を完了。堤防決壊など二次災害による被害拡大の防止に寄与した。【災害対応協力業者:(株)池田建設・(株)熊野組・(株)中川組】

玉名市繁根木地先(繁根木川右岸0k400 付近)



玉名市両迫間地先(菊池川右岸10k600 付近)



玉名市小島地先①(菊池川左岸3k600 付近)



玉名市小島地先②(菊池川左岸4k100 付近)



(株)中川組
谷口 誠 氏

当日の災害巡視時に繁根木川地区にて法面崩壊を発見しました。
担当職員へ災害規模及び状況写真を連絡・報告しました。
河川巡視終了後に応急対応の要請を受け、当社に災害備蓄品として保管しているシート及び土のうにて雨が降る中でしたが、迅速に対応しました。
これからも災害備蓄品をストックし、迅速に応急対応出来る様に続けていきたいと思っています。



(株)熊野組
井形 弘 氏

大雨により崩落した川裏堤防の法面復旧を弊社で行いました。
限られた時間の中、安全を最優先に迅速な対応に努めました。
地域の皆さまの安心につながるよう、今後も確実な施工を続けてまいります。



(株)池田建設
原口 聡 氏

洪水時河川巡視を行った際に、菊池川左岸3k800付近の川裏堤防法面の崩壊箇所を確認しました。
菊池川河川事務所の要請を受け、堤防道路を通行する車両、歩行者の転落などによる二次災害を防止するため、ブルーシート、土のうによる法面養生や、カラーコーン等による保安施設の設置を行いました。
今後もこのような災害が発生するおそれがあるので、緊急時の連絡体制、人員の確保など緊急対応時に迅速に対応できるように努めたいと思います。

○(被害状況)・・令和7年8月10日～11日の大雨により、菊池川の水位が上昇し、小原第2排水樋管のゲート全閉操作水位に達したため、当該樋管を全閉にした。その後、菊池川の水位が低下したため、ゲートの開操作を行ったが、ゲート裏側(堤防から見て宅地や田畑側)の水路の水位とゲート表側(河川側)の水路の水位に大きな差(裏側の水位>表側の水位)が生じたため、開閉装置に負荷がかかり、開操作ができない状況あった。

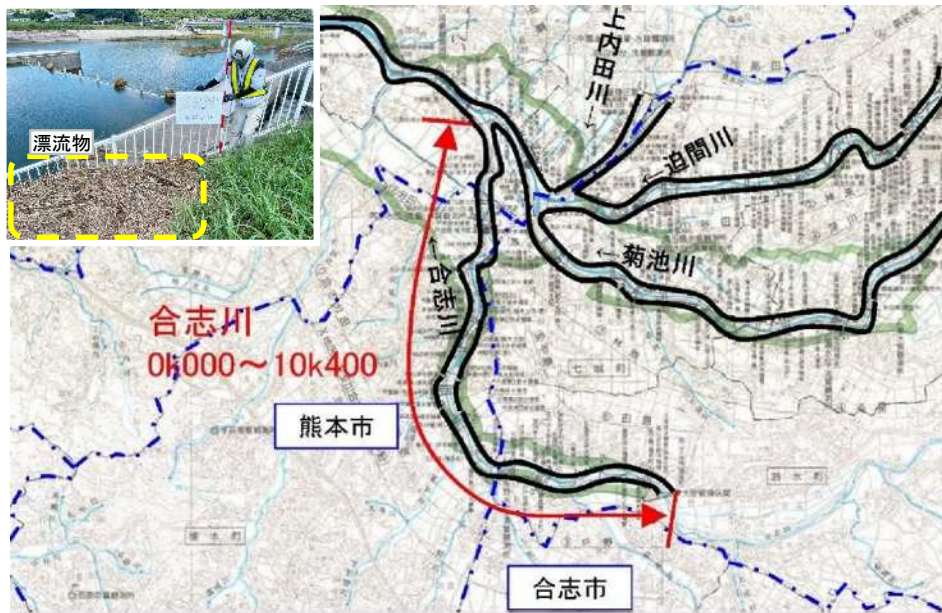
○(対応状況)・・迅速に開閉装置のハンドル部のトルクリミッター(過大な負荷がかかった際に動力伝達を瞬時に切り離し、機械を保護する装置)を調整して、緊急的に手動ハンドル操作へ切替を行った後、ゲートの開操作を実施した。その結果、ゲート裏側の水位が下がり負荷が取り除かれたため、電動操作も無事復帰することができた。



(株)田中鉄工所
工務部製造課
松永 潤 氏

通常、電動で上げる扉なので手動で上げるには時間がかかりましたが、無事上げることができました。緊急時に、水門メーカーとしての知識が生きて良かったです。

- (被害情報): 熊本県内では令和7年8月10日から11日に線状降水帯が発生し、一部地域で24時間降水量が400ミリを超える記録的大雨を観測した。菊池川水系では氾濫危険情報が発表され、合志川では計画高水位を超過し、堤防決壊等による氾濫や浸水のおそれがあった。
- (対応状況): 合志川の河道内の洪水痕跡を調査するため、水位低下後の8月12日に現地に入り、痕跡高の観測、痕跡状況撮影、痕跡図の作成を行った。



▲痕跡調査状況



▲痕跡高さ計測状況



(株)熊本建設コンサルタント
橋本智恵 氏

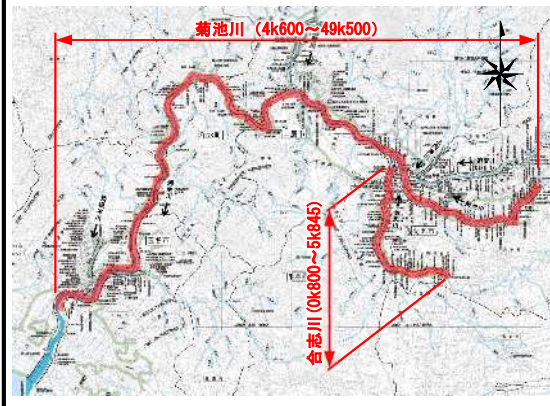
- ・河川内作業の安全対策に加え、調査時は連続して猛暑日が続いており、作業員の安全対策と熱中症対策、体調管理を徹底した。
- ・現場入り後すぐに堤防除草作業が予定されており、痕跡不明となる可能性があった。時間的に余裕が無かったが、何とか作業員を収集し現場作業を早期完了させた。
- ・現場では想像以上の位置に痕跡があり驚きました。今回の被害状況成果が地元住民の危機管理の向上に役立って欲しいと思います。

○（被害状況）：令和7年8月10日から11日の豪雨により菊池川及び合志川で流木等の堆積が発生した。

また、合志川右岸9k300では護岸基礎部の洗掘・根固めの沈下が発生した。

○（対応状況）：流木・塵芥の堆積状況の調査、被災状況の調査及び復旧工法の提案・災害申請の資料作成を実施した。

○流木・塵芥調査



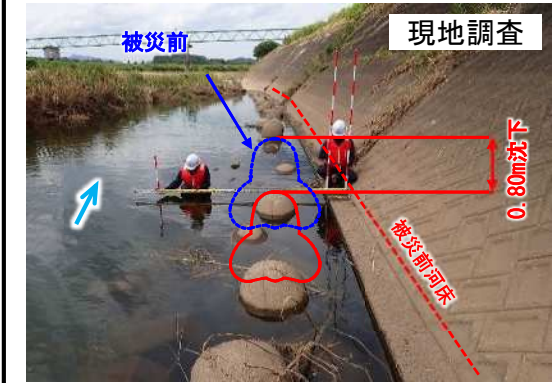
○護岸被災状況調査



○流木・塵芥調査 活動写真



○護岸被災状況調査 活動写真



株式会社
水野建設コンサルタント

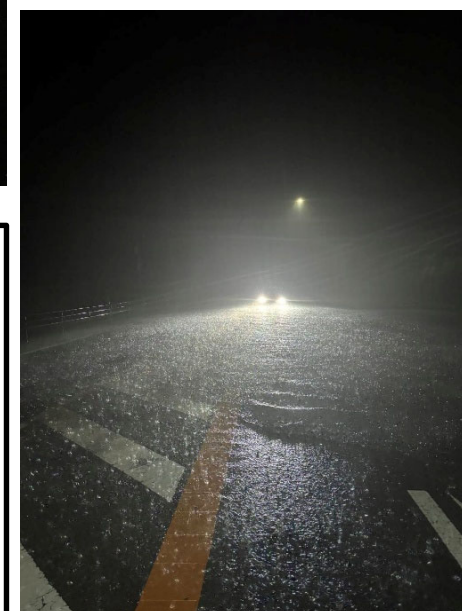
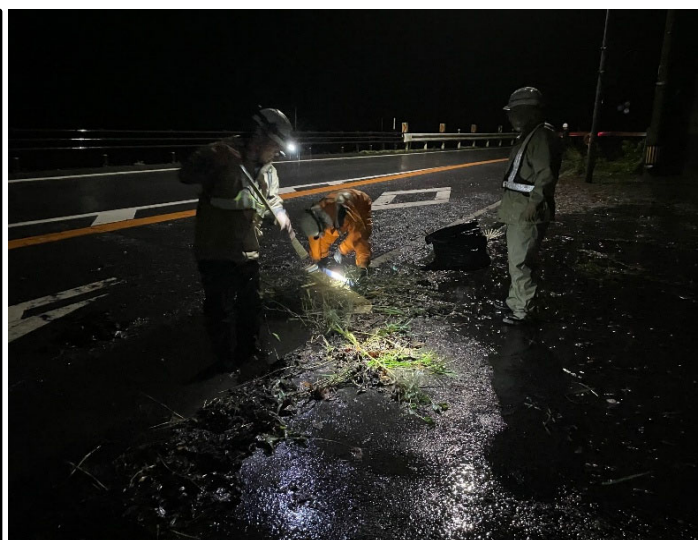
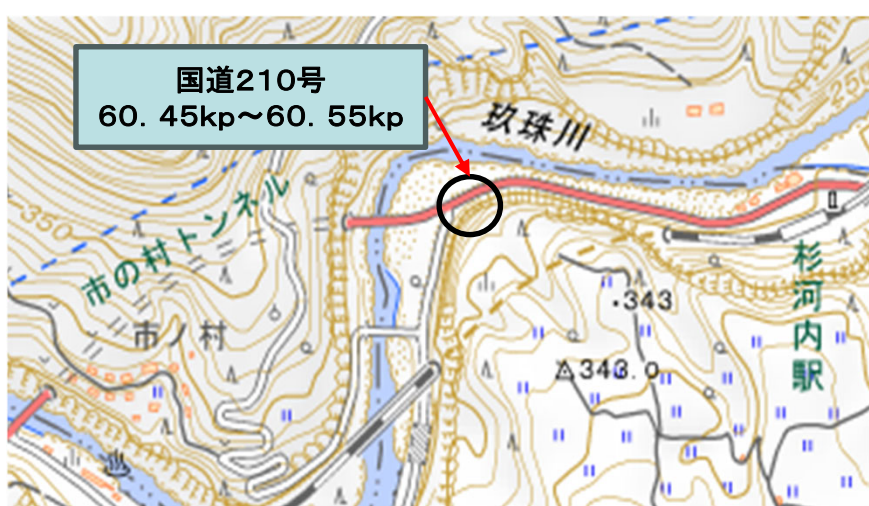
田島 弘崇 氏

早急な流木・塵芥の撤去に寄与するため、複数班を組織し、UAVを用いた効率的な調査を実施しました。

また、護岸復旧については、調査結果から被災原因を推定し、本復旧工法の提案・災害申請の資料作成を行いました。

○(被害状況) 令和7年8月10日県西部に線状降水帯が発生し、日田市では1時間に117ミリの観測史上最大の雨量を記録。日田市天瀬町赤岩地区で冠水が発生し、通行に支障をきたした。

○(対応状況) 交通車両の安全確保のため、交通誘導及び排水構内の土砂撤去作業を行い、冠水を解消させ、早期に復旧した。

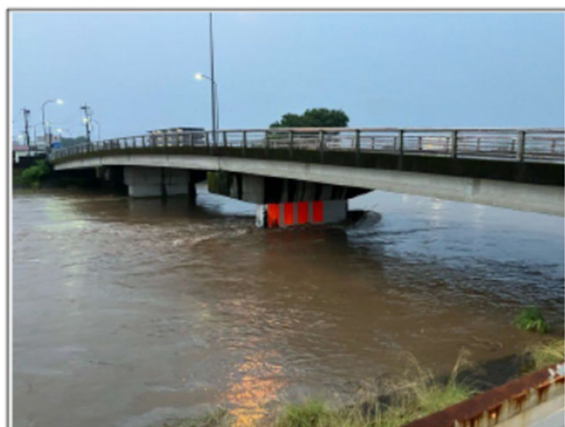


大雨の影響で流出した土砂が排水溝を塞ぎ、国道210号が冠水したもので、交通誘導及び排水構内の土砂撤去作業を行いました。国道210号は大分～日田間での物流の主たる路線であり、早期の交通規制解除を目指し夜間の視界不良の中での作業となりました。二次災害を考慮しながら、通行車両と作業員の安全に十分配慮しつつ作業を進め、早期復旧に対応でき、安堵しています。

株式会社 谷組
江藤 達也 氏

○令和7年8月8日からの大雨により、国土交通省宮崎河川事務所の要請を受け被害状況等の把握のため河川管理施設の洪水時河川巡視を行った

・大淀川上流の左岸79K950～69K800の区間及び庄内川の管理区間兩岸について河川巡視を行った。



大淀開発(株)
前村 圭介

当日は前日夕方から降り続いた大雨により朝方に掛けて水位が急上昇した為、早4時から出勤要請を受け、朝5時半より巡回をはじめ大きな異常はありませんでしたが、一部 川裏の冠水箇所がありその場所は迂回し報告を行いました。各地の災害のニュースを目にし初動で堤防に異常がないか巡視する大切さを感じております。今後も巡視メンバーの安全を第一に巡視時の正確な情報を伝えて行きたいです。

- (被害状況)・・令和7年8月8日の大雨の影響により一級河川大淀川において各地で浸水被害が発生
- (対応状況)・・浸水被害の拡大を防止するため排水ポンプ車を派遣。災害時協力会社の協力により排水作業を実施した
- ・ 宮崎県都城市鷹尾では浸水被害拡大が予想されたため、吉原建設(株) が速やかに排水ポンプ車の設置を行うなど貢献した



吉原建設(株)
山元 建治

- ・思案橋樋管上流地域は、住宅地で市営団地、整備工場等があり、これまでも何度も冠水被害にあっており、迅速な対応が必要な地域です。
- ・8月8日未明の大雨に伴い、排水ポンプ車1台(30m³/分)で、排水ポンプを4台を設置しました。大淀川が増水し樋管の調整をしていましたが、樋管での逆流が見られず水位も低下してきましたので、幸いポンプの稼働には至りませんでした。
- ・今後も台風及び急激な気象変化が予想されますので、国交省及び災害協定業者で連携を計り迅速な対応により地域に貢献できるように尽力したいと思います。

排水ポンプ車による内水排除作業（都北産業(株)）（宮崎河川国道事務所）

○(被害状況)・・令和7年8月8日の豪雨の影響により、一級河川大淀川において各地で浸水被害が発生しました。河川沿いの耕地や道路に川の水が流入し、冠水被害を受けてしまったところもありました。

○(対応状況)・・浸水被害の拡大を防止するため、出動要請に基づき排水ポンプ車にて出動いたしました。早朝4時頃に出動要請を受け排水作業を行い、浸水被害軽減に貢献することができました。



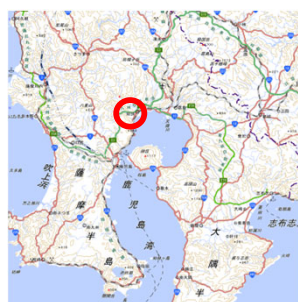
都北産業(株) 災害発生時出動メンバー



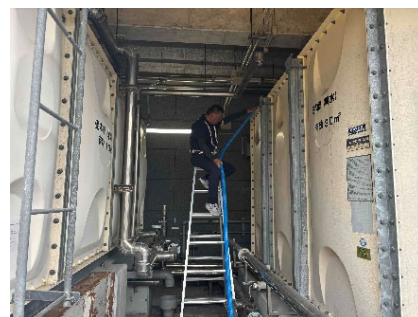
・今回、前線を伴う豪雨により大淀川が増水したため、下川東の川東第2樋管へ行き排水作業を行いました。水位上昇により水門が閉まっていたため、すぐにポンプ稼働の指示がありましたが、3時間程度の稼働で水量が減り、稼働停止することができました。

・近隣住宅地への流入など大きな被害を受けることなく作業を終えることができてよかったと思います。誰が出動しても対応できるよう体制を整えられていることが強みですのでこれからも情報共有を行い、地元の皆様のために協力会社として活動していきたいと思っています。

- (被害状況)・令和7年8月7日から大雨により鹿児島県始良市において断水被害が発生。
- (対応状況)・鹿児島県始良市の要請を受け、8月9日に散水車(給水機能付)を派遣。病院、福祉施設や給水所において給水活動を実施。断水が解消する8月15日まで活動を行い帰還した。



始良市設置の給水所(中学校・公民館等)での給水活動状況



病院・福祉施設における貯水槽への給水活動状況

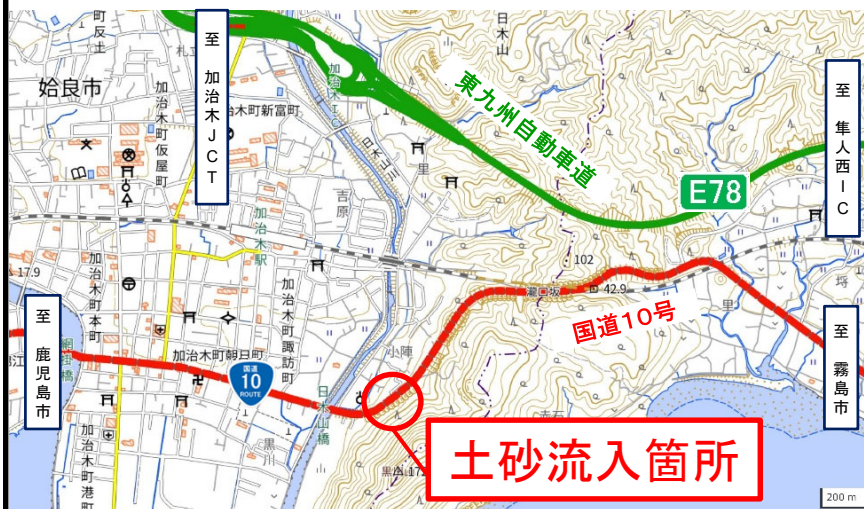


龍南建設(株)
西尾 正輝

- ・鹿児島県始良市の要請を受け、給水車を配置し給水作業を行いました。
- ・給水は中学校・公民館等で行い、朝の開始から夜の終了まで、ほとんど途切れず市民の方が給水にられました。高齢の方も多く、車まで水を運ぶ手伝い等をさせて頂きました。
- ・参加者一丸となって、迅速に対応しました。今後とも社内一丸となって地域社会に貢献できるよう努めて参ります。

- (被害状況)・令和7年8月7日からの大雨に伴い、斜面の表層崩壊が発生した。既設の落石防護柵により崩壊土砂(樹木含む)を捕捉したが落石防護柵が損傷した。被災斜面の崩壊規模は幅15m、高さ約70mであり、二次災害も懸念されたことから全面通行止めを実施した。
- (対応状況)・早期に交通開放すべく、国道10号の下り車線に仮設防護柵を設置し、斜面から土砂流入等に対するの安全対策を行い片側交互通行を行った。その後、24時間作業にて上り車線側に大型土のう等により、道路の拡幅を行い対面通行可能な幅員を確保して対面通行確保を行った。

活動箇所図等



至霧島市 至鹿児島市
国道上部斜面の崩壊状況

崩落土砂の堆積状況

令和7年8月8日撮影

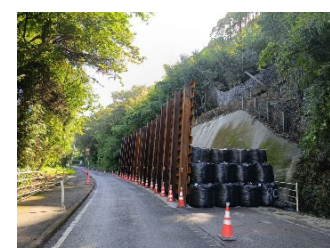
活動写真等



斜面崩土撤去



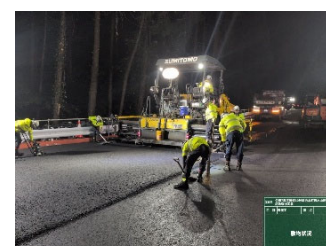
仮設防護柵設置



仮設防護柵設置



土のう設置盛土状況



舗設状況



復旧完了



福地建設(株)
永田

応急復旧工事として、法面の崩土撤去及び、仮設防護柵設置を行い、片側交互通行を24時間体制で実施しました。その後夜間作業にて2車線化工事を行い、無事故で早期開通できたことをうれしく思います。



建設サービス(株)
川畑 康昭

8月12日に加治木維持出張所から路面清掃の要請があり、8月13日早朝6時より清掃実施した後、通行止から片側交互通行規制へ移行しました。緊急要請に応えることができたことに誇りを持ち、今後も安心・安全な道路維持管理に尽力致します。

- (被害状況)・・令和7年8月7日からの大雨の影響で、野久美田地区の下り車線の路肩が崩壊した。路肩崩壊は延長約30mにわたり発生し、崩壊が拡大する恐れもあり、全面通行止めを実施した。
- (対応状況)・・路肩崩壊した箇所については、大型土のうや単粒度碎石により盛土を行い、舗装復旧、仮設ガードレール設置を行い、早期全面通行止め解除すべく昼夜問わず作業を実施した。

活動箇所図等



路肩崩壊箇所

活動写真等



斜面崩土撤去



舗装復旧(路盤)



舗装復旧(As)



被災直後



復旧完了



福永建設
(株)

福永 将士

8月8日の早朝に出張所より要請の連絡を受け、復旧作業を行いました。
連休前ということもあり、資材調達などを急ぎで行いました。事務所職員の方や他の協定業者の方々と協力して無事故で復旧できたことをうれしく思います。



(株)渡辺組

田上 弘喜

災害復旧の要請を受け、お盆休暇期間では有りましたが、主要国道の為、早期規制解除に向け、弊社工事部並びに地元業者の協力を頂き又、弊社職員の支援もあり、昼夜間の作業にて、被災箇所の早期復旧を成し遂げる事が出来ました。
期間中、ご協力、ご尽力頂いた方々に感謝申し上げます。

- (被害状況)・・令和7年8月7日から大雨に伴い、国分敷根地区の上り車線側の斜面で、小規模なものを含めて数カ所の表層崩壊が発生した。最大の崩壊箇所(約20m)では、落石防護柵により道路への直接的な被害は防がれたものの、防護柵の背面に土砂(倒木)が堆積した。
- (対応状況)・・小規模崩壊箇所においては、土砂撤去を行いブルーシート・大型土嚢設置を行い、防護柵背面の崩壊箇所については、堆積土砂等の除去を行いポケットの確保及びブルーシートで覆い降雨対策を行い、道路利用者の安全確保に努めた。

活動箇所図等



土砂崩壊箇所

活動写真等



倒木・崩土撤去



崩土撤去作業



完成



復旧完了



復旧完了



ヤマグチ
(株)

田底 克也

災害箇所は、清掃センターの通過経路にあり、冠水等により被災された方々が家財処分へ多数の車両が通過する事、お盆により帰省車両が多い事から、出来る限り道路規制を減らし、尚且つ通行車両等へ危害が無いように安全対策を行い早期復旧に努めました。事故なく完了し良かったです。

- (被害状況)・・令和7年8月7日からの大雨に伴い、「JR日豊本線」山側の沢から土砂等を含む水が大量に流出し、既設排水路が閉塞した。その結果、国道上に土砂が流入し、全面通行止めを実施した。
- (対応状況)・・道路面に堆積した土砂をミニバックホウや人力により撤去し、早期に通行規制を解除することに努め、道路利用者の安全確保に努めた。

活動箇所図等



活動写真等



土砂流入(白浜付近)



崩土撤去作業(白浜付近)



崩土撤去作業
(脇元付近)



作業完了(白浜付近)



作業完了(脇元付近)



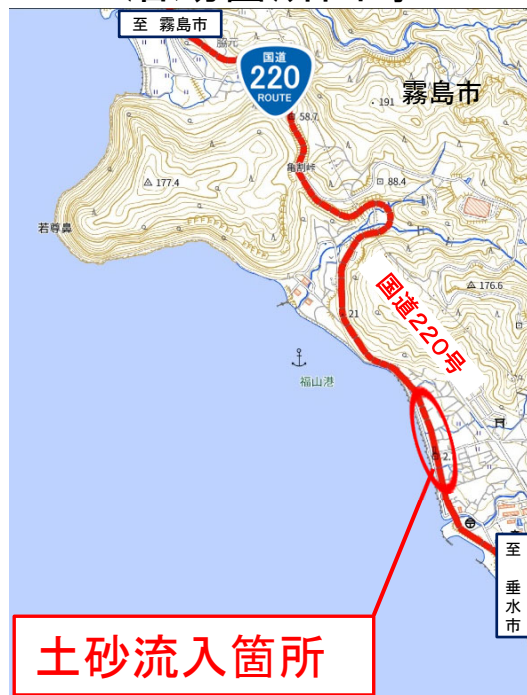
丸福建設
(株)

南谷大海

災害対応の要請後は、敏速な対応と迅速な行動で、作業人員の確保と重機・車両を稼働して土砂撤去作業に取り組み、通行止中であった磯街道の速やかな交通開放に対応しました。
加治木維持出張所の職員の方や他の災害対応協力業者とはSNSを活用し、現況や進捗写真、また作業指示や資機材不足の応援依頼等を共有し、効率よく総力を上げた対応が出来て、不備なく交通開放を迎える事が出来ました。

- (被害状況)・・令和7年8月7日からの大雨に伴い、山側より土砂が国道に数箇所流入し、通行に支障をきたした。
- (対応状況)・・国道に流入した土砂を撤去し、早期に平常走行が出来るように作業を実施した。

活動箇所図等



活動写真等



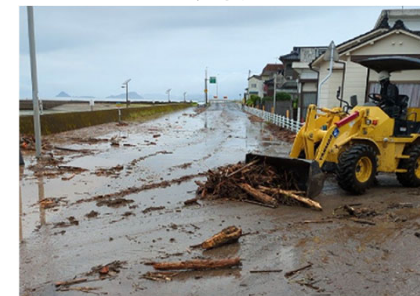
土砂流入



土砂等流入



土砂撤去作業



土砂等撤去作業



復旧完了



復旧完了



鎌田建設(株)
田平 翼

鹿児島国道事務所からの要請を受け作業班を直ちに編成し現地へ向かうと、土砂が国道に流入し通行できない状況でしたので、二次災害に注意しながら安全かつ迅速に土砂撤去を行いました。災害復旧を通じ地域貢献ができ地元建設会社としてやりがいを感じました。



鎌田建設(株)
郡山 和也

緊急出動要請を受け、現場に到着すると土砂流入により、トラックが身動き取れず、通行止めになっていました。早期規制解除に向け、作業員班を編成し土砂撤去作業に従事し、午前中に片側交互通行、20時過ぎには交通開放することができ早期復旧に貢献出来て大変うれしく思います。

- (被害状況): 令和7年8月7日からの降雨の影響により、国道10号野久美田地区において路肩崩壊が発生し、全面通行止めとなった。
- (対応状況): 応急復旧工事の状況及び被災箇所の周辺状況を把握するために、Web監視カメラを設置した。

位置図



活動状況

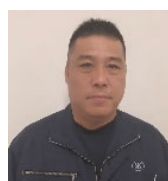


【Web監視カメラ設置】



【Web監視カメラ設置後】

配信映像



(株)ケーネス
九州支店
脇田 典彦 氏

8月10日から野久美田地区にWeb監視カメラを設置しました。Web監視カメラによってリアルタイムで現場での状況把握、道路崩落による復旧工事の状況を鹿児島国道事務所へ映像配信することができました。
(株)川北電工様と協力し迅速な対応ができました。



(株)川北電工
川越 周作 氏

緊急災害復旧の要請を受け、応急復旧工事として路肩崩落の復旧工事状況をリアルタイムに確認できるWeb監視カメラの設置を行いました。微力ながら災害復旧工事に携われた事を誇りに感じます。今後も要請があった際は、迅速に対応できるよう尽力します。

- (被害状況): 令和7年8月7日からの降雨の影響により、国道10号日木山地区において土砂流入が発生し、全面通行止めとなった。
- (対応状況): 応急復旧工事の状況及び被災箇所の周辺状況を把握するために、Web監視カメラを設置した。

位置図



活動状況



【Web監視カメラ用建柱】

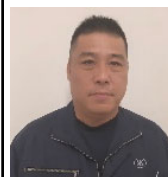


【Web監視カメラ設置】



【Web監視カメラ設置後】

配信映像



(株)ケーネス
九州支店
脇田 典彦 氏

8月9日から日木山地区にWeb監視カメラを設置しました。Web監視カメラによってリアルタイムで現場での状況把握、道路への土砂流出による復旧工事の状況を鹿児島国道事務所へ映像配信することができました。
(株)福重電工様と協力し迅速な対応ができました。






(株)福重電工
小辻 祐 氏

災害箇所及び復旧活動を監視するWeb監視カメラ設備等を設置しました。出勤要請後、資材の手配と出勤体制を整え、現場到着後は関係者と情報を共有しながら、安全かつ迅速に作業を行うことが出来ました。

○(被害状況): 令和7年8月7日からの降雨の影響により、国道10号網掛橋において橋台背面の洗掘が発生し、全面通行止めとなった。

○(対応状況): 応急復旧工事の状況及び被災箇所の周辺状況を把握するために、Web監視カメラを設置した。また、応急復旧工事の支障となるケーブル撤去及び信号機の向きを変更した。



	(株)ケーネス九州支店 脇田 典彦 氏	8月10日から網掛橋にWeb監視カメラを設置しました。Web監視カメラによってリアルタイムで現場での状況把握、橋の復旧工事の状況を鹿児島国道事務所へ映像配信することができました。各業者様と協力し迅速な対応ができました。
	(株)福重電工 徳留 隆義 氏	被災した網掛橋の災害復旧工事に支障となる架空線の撤去作業を行いました。既に復旧工事が行われる中、現場の関係者と連携を図り安全かつ迅速に作業を行うことが出来ました。
	(株)川北電工 川越 周作 氏	緊急災害復旧の要請を受け、応急復旧工事として河川護岸崩落の復旧工事状況をリアルタイムに確認できるWeb監視カメラの設置を行いました。網掛橋の復旧には、まだまだ時間が掛かりますが、早い復旧を願っています。

- （被害状況）：令和7年8月7日からの大雨により鹿児島県始良地区において断水が発生した。
断水規模は約15,000戸。
- （対応状況）：鹿児島県始良市の要請を受け、8月10日散水車（給水装置付）を派遣。
始良公民館等で給水支援活動を実施。8月15日の断水復旧まで支援を継続。



松山建設（株） 細川 日出光 氏

私の任務は、被災地での給水活動でした。
まず、5000Lの水を積載できる給水車を福岡から始良市へ搬送しました。道中、通行止めや渋滞に遭いながら約6時間かけて無事に到着しました。
現地では、他にも応援の車両があり、計4台で給水活動を実施しました。
大きな混雑はなかったものの、給水を求める方々が途切れることはありませんでした。
慣れない活動ではありましたが、九州技術事務所での訓練を活かし、適切に対応できました。



松山建設（株） 田原 和博 氏

緊急出動要請を受け、給水車で鹿児島県始良市まで移動し、始良公民館前で被災地住民に対する給水活動を行いました。
要請元である九州技術事務所や始良市役所の方からのサポートもあり、熱中症等の二次災害に遭うことなく、活動ができました。
自治体配布の給水袋や飲み口の大きなポリタンクには問題なく給水することが出来ましたが、稀に持ち込まれるペットボトルに対しては、飲み口に対して給水ホースの径が大きく、給水する際に吐出量を調整する等の一手間が生じたので、径の小さなノズルを準備する等、工夫が必要だと感じました。



- (被害状況): 令和7年8月7日からの大雨により鹿児島県始良地区において断水が発生した。
断水規模は約15,000戸。
- (対応状況): 鹿児島県始良市の要請を受け、8月10日散水車(給水装置付)を派遣。
始良公民館等で給水支援活動を実施。8月15日の断水復旧まで支援を継続。



(株)ミゾタ
田中 大介 氏

大雨による断水の連絡を受け、鹿児島県始良市に総勢6名で出動し給水活動を行いました。作業では、給水班や市役所の方々と連携し、役割分担を綿密に行い、安全第一で作業を進めました。
現地での活動開始から約6日で水道復旧のめどが立ち帰社しましたが、生活に必要な水を受け取る住民の方々の安心した表情を目にしたときには、活動してよかったと心が熱くなりました。



○(被害状況): 令和7年8月9日から大雨により遠賀郡芦屋町にて浸水被害が発生。

○(対応状況): 遠賀郡芦屋町の要請を受け、8月11日に排水ポンプ車を派遣し現地におけるポンプ及びホース設置から排水作業の支援を実施。



(株) バイテック
善 敏範 氏

- ・浸水箇所から排水箇所まで距離があり、排水ホースの設置が困難でありポンプの並列接続等に工夫が必要でした。
- ・浸水箇所がすり鉢状の地形であり、排水が進むとホースの延長等が必要となり排水ポンプ車の設置場所にも気を配りました。
- ・ポンプの周りに木の葉や漂流物が多くポンプが詰まりやすく漂流物がポンプに付着しないような工夫も行いました。

漂流物の回収（一社）日本埋立浚渫協会（熊本港湾・空港整備事務所）

- (被害状況): 令和7年8月の大雨により、漂流物が有明海湾奥部に滞留し、漁船や一般船舶への接触・衝突の危険性が高まった。
 - (対応状況): 有明海の水深が浅い海域において、漁船や一般船舶の漂流物への接触・衝突の危険性を低減、航行の安全を確保するため、流木19m3を含む漂流物合計約470m3を回収した。
- 回収作業は、熊本港湾・空港整備事務所の調査観測兼清掃船「海輝(かいき)」、「海煌(かいこう)」と当協会の起重機船が出動し、福岡有明海漁業協同組合連合会の漁船77隻と連携して実施した。

回収日時：令和7年8月31日(日) 9時～13時
回収場所：有明海湾奥部（下図参照）



「海輝」による漁船との連携回収状況



「海煌」による漁船との連携回収状況



起重機船「第八勝栄号」による
回収物の受け取り状況



みらい建設工業（株）
江崎 守

日本埋立浚渫協会より、漂流物回収の緊急出動の要請を受け、迅速に九州地方整備局と対応について打合せを行い、即座に役割分担を決め、関係機関の協力のもと、安全作業で漂流物の回収作業をスムーズに行いました。

漂流物を早期回収する事により、有明海での航行船舶への漂流物による災害（接触・衝突）を防ぎ、漁船や一般船舶への航行安全に寄与できた事に安堵しました。